

# 上映映画のご紹介

## 能代市文化会館中ホール

### 7.29(土) 10:00~11:48(108分) 独立愚連隊 [1959年 東宝] (白黒)

脚本・監督 岡本喜八 [出演者] 佐藤允、雪村いづみ、鶴田浩二、三船敏郎

成瀬巳喜男、マキノ雅弘らに師事した岡本喜八は、デビュー作『結婚のすべて』(1958)で斬新な娯楽映画の旗手として注目され、翌年『独立愚連隊』を世に送る。太平洋戦争末期の北支戦線を舞台に、独立愚連隊と称する前線の哨隊で命を絶った弟の死に不審を抱いた元軍曹が、従軍記者に扮して部隊に潜入、事件の背後に潜む上官の不正を暴き出す。シナリオ作家協会賞を受賞した自作の脚本をもとに、西部劇のエッセンスをパロディとして活かしながら、日本映画の伝統には見られない活劇調の戦争映画を作り上げた。終戦時に予備士官学校に籍を置いていた岡本の戦争に対する屈折した思いが、アクション映画の意匠から滲み出てくる。バタ臭い魅力を放つ佐藤允を主演に、各々の俳優がユニークな役どころを演じ、痛快な娯楽作を盛り立てている。

### 7.29(土) 13:00~15:37(157分) 日本のいちばん長い日 [1967年 東宝] (白黒)

原作 大宅壮一 脚本 橋本忍 監督 岡本喜八 [出演者] 三船敏郎、笠智衆、山村聰、宮口精二

1945(昭和20)年8月14日正午、御前会議によるポツダム宣言受諾の決定から、翌日正午の天皇による玉音放送にいたるまでの一日を描き、「大宅壮一編」として出版された半藤一利のノンフィクションを原作に、東宝35周年を記念する作品として映画化。橋本忍の脚本を得て、岡本喜八監督が日本映画界を代表する男優陣総出演ともいえるキャストを、メリハリのある演出でさばき、日本映画史に一ページを画する大作に仕上げた。天皇による詔勅の文面が決定されるまでの前半は、陸相と海相とのやりとりで見られる緊迫した言葉のドラマを軸に展開され、後半は一転、終戦を阻止しようとする陸軍青年将校らによるクーデター計画を中心に、厚木航空隊、横浜警備隊の動きを絡ませながら、怒涛のようなテンポによる活劇が繰り広げられる。天皇が詔勅を録音するシーンと厚木基地での出撃場面のカットバックなど、戦中派である岡本のやるせない思いが細部にまでしみわたり、先の見えない国難に戸惑う者たちの心情が観る者の胸に迫ってくる。「キネマ旬報」ベストテン第3位。

### 7.29(土) 15:55~17:45(110分) わが青春に悔いなし [1946年 東宝] (白黒)

脚本 久板栄二郎 監督 黒澤明 [出演者] 原節子、藤田進、大河内伝次郎、杉村春子

黒澤明監督の戦後第一作。モデルとなったのは京都大学の滝川事件(1933)とゾルゲ事件(1941)だが、後年の男性中心の黒澤作品に比べるとやや異質な感じを与えるのは、女性が主人公である点であろう。ファシズムの圧力に屈し野に下った大学教授の娘で、戦時下のさまざまな苦境にも屈することなく生きていく堂々たるヒロインとして、原節子が後の小津安二郎作品とは違った魅力を発揮している。脚本の久板栄二郎はプロレタリア演劇の中心的存在として活躍していた劇作家で、彼と組んだところに当時の黒澤監督の姿勢が表われている。ともあれ、戦後の「新しい時代」の高揚の中で制作されたことが良くわかる作品である。本作は、1946年3月から始まった東宝争議の第二次争議中に、日活系の劇場を使って封切られた。「キネマ旬報」ベストテン第2位。

### 7.29(土) 18:05~19:55(110分) 暁の脱走 [1950年 新東宝] (白黒)

原作 田村泰次郎 脚本 黒澤明 脚本・監督 谷口千吉 [出演者] 池部良、小沢栄、山口淑子

肉体派文学を提唱し、一世を風靡した田村泰次郎による人気小説「春婦伝」を、監督デビュー3作目の谷口千吉が映画化した戦後反戦映画の代表作。敗戦間近の中国戦線で激しい恋に落ちた上等兵の三上(池部良)と慰問団の歌手・春美(山口淑子)は、敵の捕虜となって送り還されてくる。二人を迎えたのは数々の汚名と上官の嫉妬。軍曹の助けを借り、部隊からの脱走を試みる二人に、残酷な結末が待ち受けていた。谷口と黒澤明が共同で執筆した初稿シナリオは占領軍の検閲官により何度も書き直しを命じられ、難産のうえに完成を見た作品であったが、満洲映画協会のスター「李香蘭」として活躍していた山口をはじめ、中国で捕虜になった谷口、中国戦線に従軍していた池部、田村と、外地での体験を持つスタッフ・キャストの結集により、日本軍の非人道的な階級制度を激しく糾弾する野心作となった。「キネマ旬報」ベストテン第3位。翌年のカンヌ映画祭へ日本からの正式作品として出品されるとともに、香港および東南アジア諸国に輸出された戦後初の日本映画である。

## 能代市立能代図書館集会室

### 7.30(日) 11:00~12:40(100分) ママの巻〜ムーミンママの庭 (1982年)

最新のデジタル技術と新しい吹替えで鮮やかによみがえったムーミンの人形アニメーションシリーズ。ムーミンの生みの親、トーベ・ヤンソンによる監修のもとでポーランドのスタジオが1978年から82年にかけて制作。笑いあり、冒険あり、ちょっぴりせつないハートウォーミングなストーリーありのこどもから大人まで楽しめる全50話。吹き替えは、俳優の松たか子さんと段田安則さんが担当。2人が演じわける多彩なキャラクターたちも見どころです。

### 7.30(日) 14:00~16:17(137分) 未知との遭遇 (1978年)

スティーブン・スピルバーグ監督が人類と異星人の接触を描き世界的ヒットを記録したSFドラマ。メキシコの砂漠で、第2次世界大戦中に消息を絶った戦闘機が当時と変わらぬ姿のまま発見された。一方、アメリカのインディアナ州では大規模な停電が発生。復旧作業に向かっていた電気技師ロイは、発光する謎の飛行物体と遭遇する。それ以来、何かに取り憑かれたようにその正体について調べ始めたロイは、やがてワイオミング州のデビルズタワーという山にたどり着く。